青森新時代「農林水産力」強化パッケージの概要

I 概要



▶青森新時代

青森県基本計画「青森新時代」への架け橋では、農林水産業に関する施策や取組が、政策テーマ「しごと」を中心に、多岐に渡っています。

基本計画の政策テーマ「しごと」では、2040年に目指す姿として「農林水産業が持続的に発展する社会」を掲げています。

このため、農林水産業が持続的に発展する社会の実現に向けた取組を①販売力強化、②生産性向上、③人財育成、④農山漁村振興の4つの柱に整理し、政策パッケージとして策定します。

青森県基本計画「青森新時代」への架け橋の概要

青森県 基本計画 基本理念 AX (Aomori Transformation) ▶ AXの基盤 「挑戦」「対話」「DX」

めざす姿 若者が、未来を自由に描き、実現できる社会

政策テーマ しごと 健康 こども 環境 交流 地営会 社会資本



青森新時代「農林水産力」強化パッケージの概要

めざす姿



農林水産業が持続的に発展する社会

特徴1

品目・分野に着目 した施策体系

販売力強化

所得向上につながる 販売戦略の展開

生産性向上

利益の最大化を目指す 生産性向上

人財育成

次代を担う人財の 確保・育成

農山漁村振興

元気で豊かな 農山漁村づくり

特徴2

プロジェクトごと に数値目標を設定

継続的取組

地道な取組

プロジェクト 関係者が連携した

重点的な取組

所得向上プログラム 生産者が実践

特徴3

対話を重視した 施策形成

進行管理·施策形成

青森県「農林水産力」 強化本部 (本部長:知事)

情報共有

8つの部会 (部会長: 課長)

対話

生産者 関係団体 市町村



▶青森新時代

特徴1 品目・分野に着目した施策体系

生産者や関係団体が理解しやすいように、品目・分野に着目して施策を分類した上で、このうち、 特に重点的に取り組むものをプロジェクトとして整理し、施策を展開します。

特徴2 プロジェクトごとに数値目標を設定

プロジェクトごとに目標や挑戦する内容を設定し、実効性を高めるため、関係者がどのように連携していくのかを明確にするとともに、進捗状況を確認しながら、同じ目標に向かって取組を進めます。

プロジェクトは、関係事業の改廃に合わせて毎年度見直します。

特徴3 対話を重視した施策形成

知事を本部長とする本部の下、分野ごとに部会 を設置し、生産者や関係団体と連携して施策を展開 します。

また、現場からの意見を施策に反映させるため、 各部会の企画により、生産者や関係団体のキー パーソンとの意見交換を随時行います。

対話

各部会において、 生産者や関係団体 との意見交換を行 う場を設定

青森県 「農林水産力」 強化本部

実践

生産者や関係団体

が連携して展開

施策形成

現場からの意見 を施策に反映し、 随時見直し

【青森県「農林水産力」強化本部組織図】

青森県「農林水産力」強化本部 食ブランド・流通推進部会 (食ブランド・流通推進課長) (知事) 構造政策部会 (構造政策課長) ※()内は本部長又は部会長 農産園芸部会 (農産園芸課長) 果樹部会 (りんご果樹課長) 地域段階では、各地域県民局 畜産部会 (畜産課長) 単位で市町村や農協等を参集 した連絡会議を開催(内容は各 部会と連動) 林業部会 (林政課長) 水産部会 (水産振興課長) 農村整備部会 (農村整備課長)